



クロマツ林に守られた 我がふるさと遊佐

砂丘地砂防林環境整備推進協議会

会長 佐藤 豊昭

山形県飽海郡遊佐町



遊佐町

気象 日本海と鳥海山・出羽丘陵に囲まれているため、一般に多雨多湿の海洋性気候に支配される。冬季は、北西の季節風が強く、しばしば地吹雪にみまわれる強風寒冷地帯である。



現在の庄内砂丘の海岸林の姿

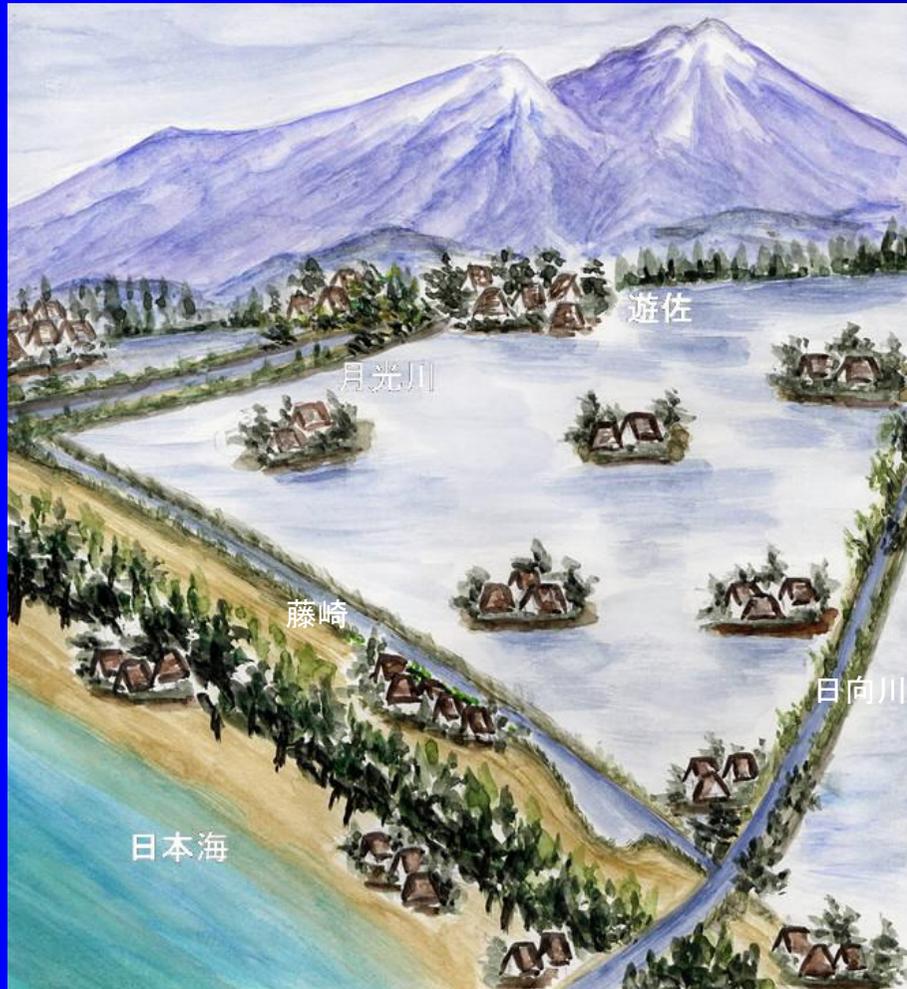
庄内砂丘の海岸林は歴史的な遺産であるとともに地域の産業と暮らしを支える基盤である。



最上川を境にして
川北と川南では
林帯の配置が大きく異なる

延長33km、幅1.5~3km、
面積約75km²

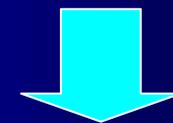
歴史を300年前に遡れば



- ・ 江戸中期の戦乱により林が焼失
- ・ 塩づくりの燃料としての乱伐



地上に1本の木もないほどに
荒廃し、一帯が砂漠化した。



砂丘一帯が不毛の地となった。
(たびたび洪水が発生した。)

庄内砂丘植林図

来生彦左衛門
 佐藤太郎右衛門
 佐藤藤左衛門
 佐藤藤蔵
 佐藤四郎兵衛
 佐藤安右衛門
 来生八十郎
 本間光丘
 尾形庄蔵
 堀善蔵、砂下村21ヶ村
 曾根原六蔵
 阿部清右衛門

.....

多くの先人が植林に取り組んだ



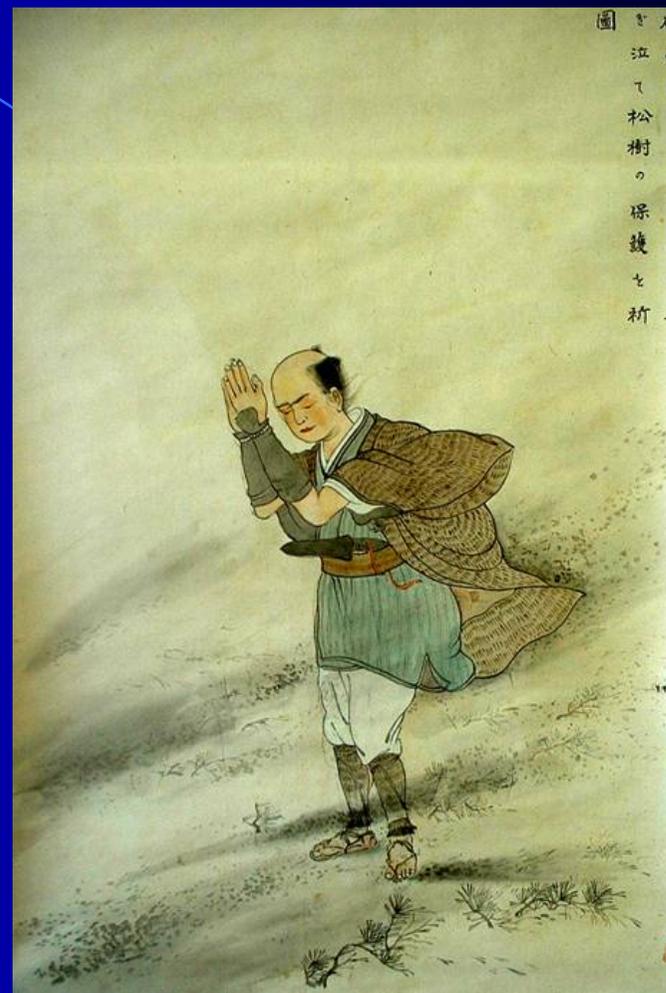
1700年代から本格的にはじめられた
庄内砂丘の砂防植林。 幾多の困難を乗
り越え、2世紀を経て不毛の砂地に緑が
よみがえった。



曾根原家名子十四名松植付之図より

資料: 曾根原家所蔵絵図

藤蔵翁時代の植林風景



町では、藤蔵翁の植林の偉業を讃え、毎年11月10日に例祭(藤蔵祭)を行っている。

資料: 佐藤家所蔵絵図

藤崎地区の砂防植林の先人 佐藤藤蔵



佐藤藤蔵墓

「1本の枝を切ることなかれ、いわゆる一枝切らば一指を断たんという古き掟を守らざんや・・・」



藤崎村のいしふみ

戦後の森林荒廃と飛砂被害の復活

しかし、
ようやく形づくられてきた砂防林は
第二次世界大戦の混乱で
放置、乱伐され
戦後、砂防林は荒廃を極める。
かつての飛砂の猛威が復活し、
庄内の人々の生活は困窮した。

飛砂により移転を余儀なくされた服部興野の民家
(S26 1951)



写真：須藤儀門

1960. 5. 23 山形新聞

飛砂の中の食事



酒田市飛砂...屋根も埋める
食事もカサさして

戦後の砂防植林

吹浦

飛砂被害に困窮した住民は、民有林を国に寄付。
昭和25年に国営の海岸砂地造林事業が開始され、
翌昭和26年に工事着工となる

整地され平坦になった砂丘に植栽が始まった。

写真：須藤儀門

不毛だった砂丘にクロマツの姿が見えてきた
(141林班 遊佐町十里塚南)



写真：須藤儀門

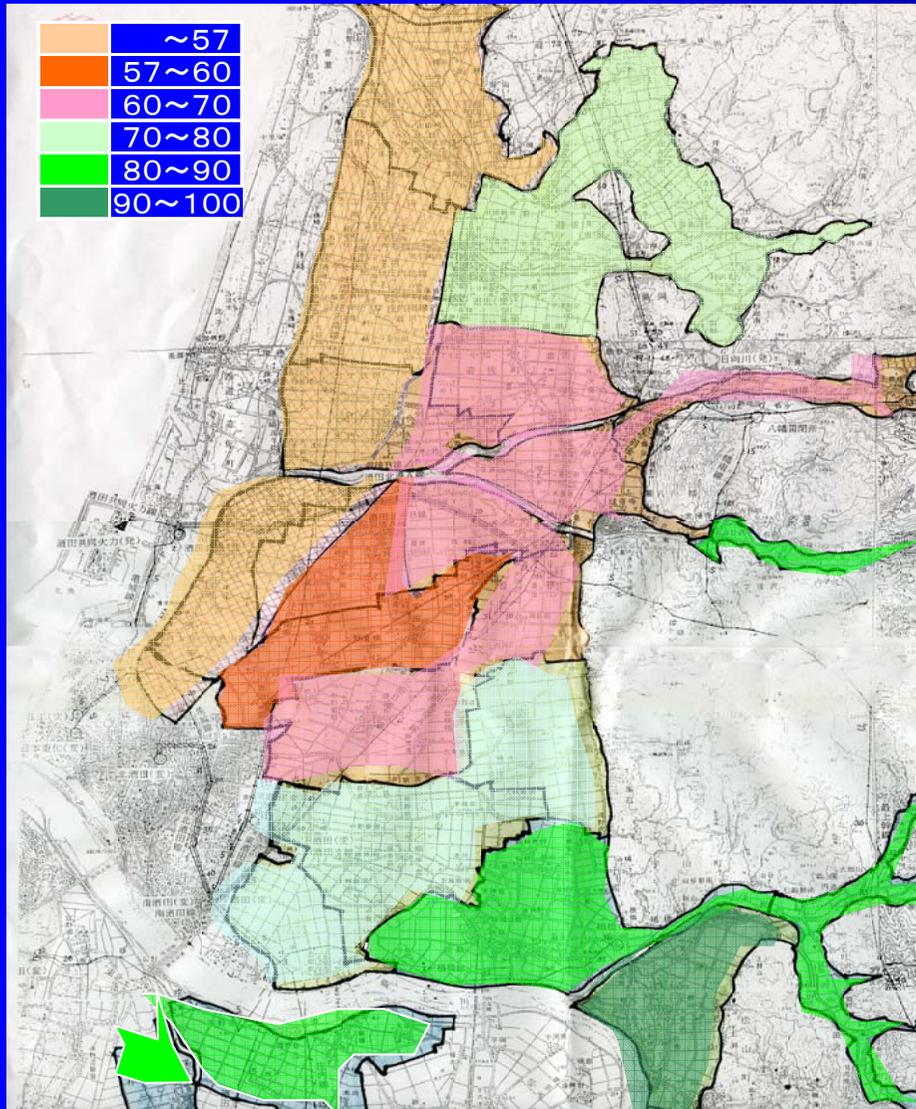
現在の遊佐町十里塚地区の砂防林の姿



遊佐中学校3年生インターンシップ2003

写真:庄内総合支庁森林整備課

平成16年の台風被害 庄内で149億円



2004年(平成16年)12月18日(土曜日)



台風被害について話し合った対策会議
—酒田市・庄内農業共済組合

庄内 台風被害 149億円 農林水産 県全体の96%占める

今年八月の台風16の被害額が百五十五億四千九百九十九万円、このうち庄内地域は96.2%に当たる百四十九億六千二百九十九万円だった。特に被害の大きい農作物の主な内訳は、水稲が百一億五千二百九十九万円、畑作物九億七千九百九十九万円、野菜八億六千二百九十九万円、ナシや柿などの果樹が八億二千九百九十九万円、漁船などの水産施設は十三億四千八百九十九万円だった。

会議では、関係機関、団体がこれまでの各種支援対策を発表。「はえぬき」「ひとめぼれ」など来年の水稲種子を生産目標数量通りに確保したほか、潮風害などによる水稲の共済金を今月二十八日まで支払いができるよう準備を進めているとも報告した。

酒田市広野の庄内農業共済組合で開かれた同支庁台風16号農作物等被害対策会議(会長・佐藤雄雄産業経済部長)で、県側が報告した。県全体

平成16年台風15号被害状況



潮風害によりかたてない
白穂現象が発生

平成16年台風15号被害状況



梨の落下



ラフランスの落下



ビニルハウスの倒壊



季節外れの梨の開花

砂丘地砂防林環境整備 推進協議会の設立

設立の動機

- 松くい虫による被害木の発生
- 砂丘地クロマツ林の荒廃
- ニセアカシアの異常なまでの繁殖
- 山形県による保安林の整備の開始（ニセアカシア等の除伐作業）

協議会活動の推移

行政へのお願い



森林整備予算の限界



行政とボランティアの役割分担を明確に

地域の問題と捉え、
自らできることは自ら行う。
(ボランティア活動)



地域住民と会員による、砂丘地砂防林の整備

協議会の支援・啓発活動

1. 未来を担う子どもたちへ伝えるため

協議会

小中学校の「総合的な
学習の時間」における
講話並びに学習林整備
のバックアップ

西遊佐小学校

稲川小学校

遊佐中学校



2. 地域住民の理解を得るために

新聞等のメディアを活用し、協議会の活動内容を積極的に提供する。

クロマツ林に対する住民の関心を集める。

ボランティア活動への住民参加を促す。

クロマツ林を守る。



森林ボランティア

砂丘地砂防林環境整備推進協議会
(佐藤 豊昭会長)

平成9年、西山の砂防林の整備をするため、西遊佐地区の住民を中心に結成。年間を通じて、活動を行っている。

●問/佐藤豊昭 ☎75-3189



森林ボランティアの皆さん

砂防林守ろう
松1600本を植栽
遊佐・住民や児童
松くい虫の被害が拡大している砂防林を守ろうと、遊佐町藤崎の砂防林で、地域住民と小学生らがこのほどボランティアアで下刈りや松の苗木植

伐採した作業集落をしように願木計千丁寧に植樹のため、砂防懸念され

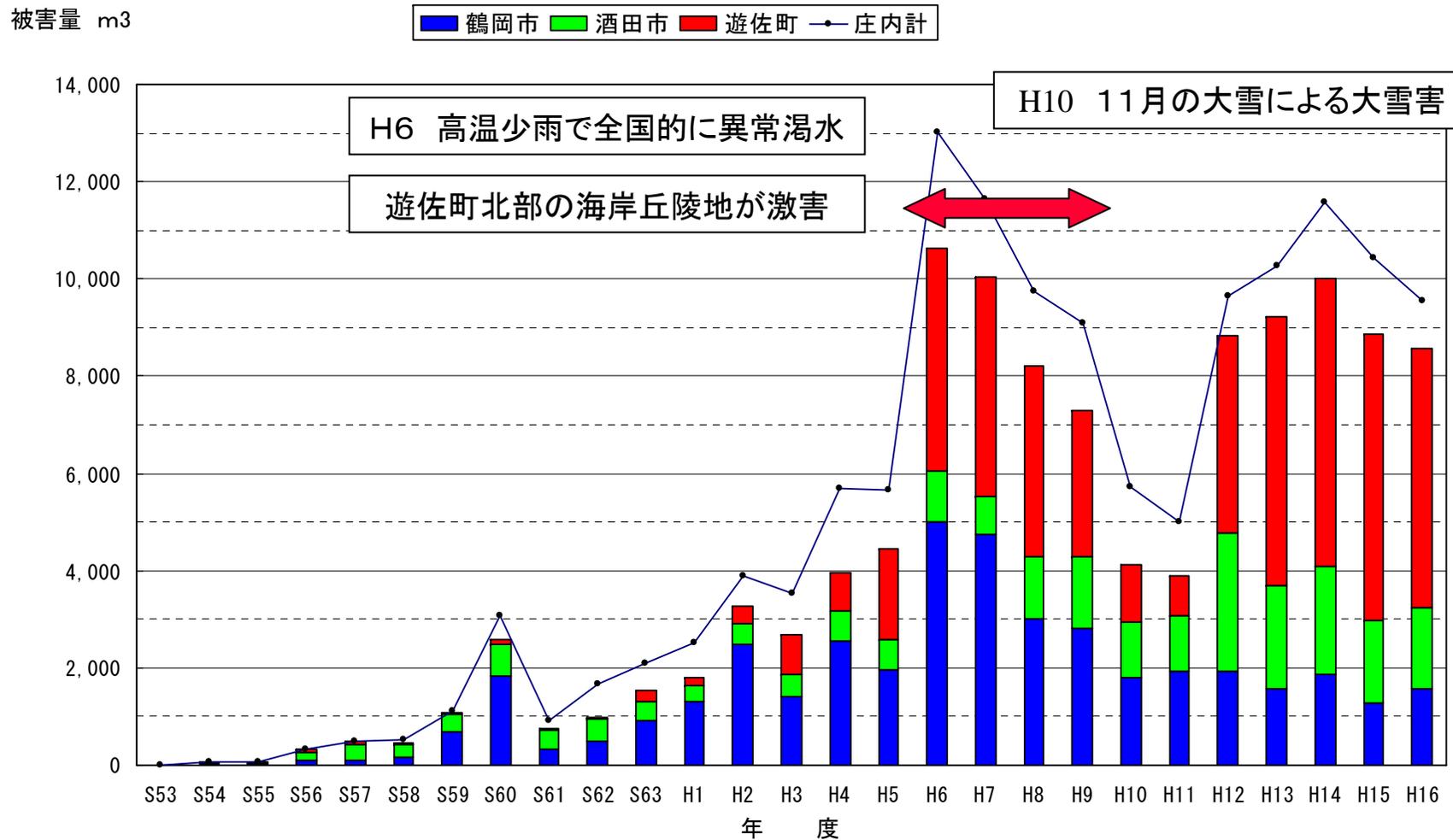
庄内砂丘の海岸林の最大の課題



特に遊佐町において被害が著しい

鶴岡市・酒田市・遊佐町の松くい虫被害量の推移

鶴岡市・酒田市・遊佐町における被害量の推移



伐倒駆除一運搬破碎処理



ペレット



パルプチップ



搬出した被害材を、パルプやペレットのプラントに搬入し、破碎処理(チップ化)する

写真: 庄内総合支庁森林整備課

伐倒駆除ー現場破碎処理



- 細かい枝葉等は自走式チップシュレッダーで現場で破碎(チップ化)し、土壌に還元したり、歩道の路盤材、植栽時のマルチング材料として利用する。

無人ヘリコプター散布



- 操縦に高所作業車が必要なため道路と、離着陸できる広場が必要
- 山形県では遊佐町で実施

海岸林保全の取組み

「出羽庄内公益の森整備事業」について

地域の共有財産である庄内海岸林を、地域の力で守り育てようという意識が高まりを踏まえ、庄内総合支庁では多様な主体の協働による海岸林保全の取組みを、平成14年度から実施しています。

主な事業内容

- ・「出羽庄内公益の森づくりを考える会」の開催
- ・「ボランティア活動」の支援
- ・「ボランティアリーダー養成研修」の開催
- ・「森林環境教育の支援」
- ・「松くい虫被害根絶対策」

「出羽庄内公益の森づくりを考える会」参加団体

◎行政機関

林野庁東北森林管理局庄内森林管理署
林野庁東北森林管理局朝日庄内森林環境保全ふれあいセンター
国土交通省東北地方整備局酒田河川国道事務所
山形県庄内総合支庁森林整備課・企画振興課
山形県森林研究研修センター
鶴岡市農山漁村整備課
酒田市農林水産課
遊佐町農林水産振興課

◎教育機関

山形大学農学部
東北公益文科大学公益学部
鶴岡市立西郷小学校
鶴岡市立湯野浜小学校
酒田市立十坂小学校
酒田市立黒森小学校
酒田市立西荒瀬小学校
遊佐町立西遊佐小学校
遊佐町立稲川小学校
山形県庄内教育事務所

◎住民団体

NPO庄内海岸のクロマツ林をたたえる会
万里の松原に親しむ会
砂丘地砂防林環境整備推進協議会
飯森山の緑と景観を考える会
「森の人」講座実行委員会

◎林業関係団体

出羽庄内森林組合
酒田森林組合
遊佐森林組合

砂丘地砂防林環境整備推進協議会のボランティア活動



H15. 12. 7 西山地区砂防林整備活動
酒田市の住民団体からも大勢参加

砂丘地砂防林環境整備推進協議会のボランティア活動



H15完成の林道周辺を整備



H15. 12. 7 西山地区砂防林整備活動

町内だけでなく酒田市の住民団体からも大勢参加

写真: 庄内総合支庁森林整備課

砂丘地砂防林環境整備推進協議会のボランティア活動



大勢の児童や高校生も
参加

H16. 12. 5

雨の中枝打ちや松枯れ跡
地への植林を行った



写真: 庄内総合支庁森林整備課

砂丘地砂防林環境整備推進協議会のボランティア活動

H14. 6. 16



遊佐町立西遊佐小学校の学習林づくりに大勢の地域住民が参加

写真：庄内総合支庁森林整備課

遊佐町立西遊佐小学校1998～ 2003.5.23

2002 学習林設置



1998年に先輩が植栽したクロマツの下刈りを終えて

写真: 庄内総合支庁森林整備課

遊佐町立稲川小4年生の学習林活動 2003～



写真: 庄内総合支庁森林整備課

砂丘地砂防林環境整備推進協議会のボランティア活動



遊佐町立西遊佐小・稲川小の森
づくり活動に協力

子供とともに植林し、下刈りを
行っている



写真: 庄内総合支庁森林整備課

遊佐中3年生砂防林整備活動2003.9.16(1)



写真: 庄内総合支庁森林整備課

遊佐中3年生砂防林整備活動2003.9.16(4)



作業前



作業後

遊佐中3年生砂防林整備活動2005.9.14



協議会メンバーも協力



遊佐中学校3年生全員による整備活動は今年で4年目を迎えた

おわりに

私たちは先人の行った偉業を偲び、二度と戦国時代のような不毛の砂丘にしないためにも、クロマツ林の復元と保護を目指していききたいと思います。